

原発地震動評価・美浜3号審査に関する緊急要請

入倉・三宅式の過小評価を熊本地震が証明
武村式を用いた規制委の再計算により地震動は1.8倍に

美浜3号炉の審査手続きを止め、寿命延長の断念を！

原発を止め、全ての原発の基準地震動を武村式で再計算を！

原子力規制委員会委員長 田中 俊一様

2016年7月26日

元原子力規制委員の島崎邦彦氏は、熊本地震を踏まえて「入倉・三宅式では地震動は過小評価」との警告を發し、原子力規制委員会・規制庁は7月13日に、大飯原発の地震動を武村式で再計算した結果を公表しました。その結果、入倉・三宅式ではなく、原発の津波評価で採用している武村式に置き換えて計算すれば、地震動は1.8倍になることが明らかになりました。これにより、大飯原発の基準地震動856ガルは1,550ガルになり、クリフエッジを超えます。美浜3号炉も約1,800ガルとなり、やはりクリフエッジを超えるため、大惨事となります。

規制委田中委員長は、7月19日に島崎氏と面談し、自らの再計算について「やってはいけないことをやってしまった」などと述べ、再計算そのものをなかつたことにしようとしています。これほど無責任なことがあるのでしょうか。

規制委の発表では、計算結果は644ガルで、入倉・三宅式による基準地震動よりも小さくなっており、1.8倍とは矛盾します。これは、規制委の再計算では、①計算のベースになる基本パターンについて関電よりも小さい値を用いる、②「不確かさの考慮」による上乘せをしない、といった操作がされていたことによります。島崎氏が指摘するように、式の置き換え以外は、関電の断層モデル・計算結果に基づいて計算をすべきです。その場合は、基準地震動が1.8倍になります。

規制委は自らの再計算結果に基づき、大飯原発、美浜原発3号炉の再稼働を断念すべきです。川内原発を止め、伊方3号の原子炉起動を中止して、全ての原発の基準地震動を武村式で再計算すべきです。美浜原発3号炉は、40年超えの寿命延長の審査中であり、原子炉設置変更許可の審査書案が7月27日にも出るとされていますが、審査の手続きを止め、廃炉にすべきです。以下要請します。

要 請 事 項

- 一、美浜原発3号炉の審査手続きを止め、寿命延長を断念すること
- 二、原発を止めて全ての原発の基準地震動を武村式で再計算すること

呼びかけ・賛同：98団体／個人賛同：565名

呼びかけ団体：ふるさとを守る高浜・おおいの会／原発設置反対小浜市民の会／プルサーマルを心配するふつうの若狭の民の会／サヨナラ原発福井ネットワーク／原発なしで暮らしたい宮津の会／原発なしで暮らしたい丹波の会／グリーン・アクション／美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会／おおい原発止めよう裁判の会／脱原発わかやま／脱原発はりまアクション／さよなら原発神戸アクション／避難計画を案ずる関西連絡会／放射能のゴミはいらない！市民ネット・岐阜／さよなら原発・ぎふ／核のごみキャンペーン・中部／玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会／川内原発30キロ圏住民ネットワーク／国際環境NGOグリーンピース・ジャパン／国際環境NGO FoE Japan／福島老朽原発を考える会／原子力規制を監視する市民の会